

医療・介護ベッドの事故と対策について動画で確認いただけます。



『医療・介護ベッドに潜む危険』

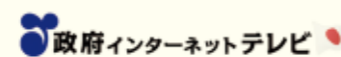
～医療・介護ベッドを安全にお使いいただくために～

医療・介護ベッド安全普及協議会



介護される方へ～事故を防ごう！

『介護ベッドと電動車いす』

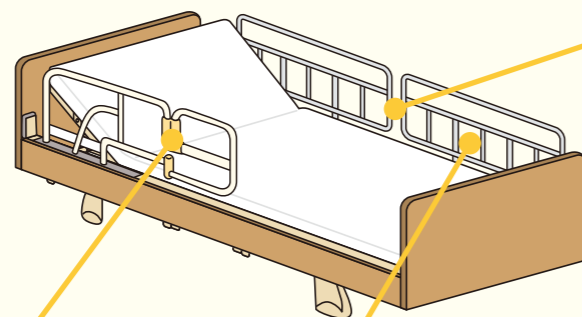


最新のベッドはどうなっているの？

2009年3月に介護ベッドのJIS規格が改定され、サイドレールとサイドレールのすき間だけでなく、安全に関わる数十項目が厳しく規定されました。さらに、国際規格との整合のために、2015年12月に改定されました。



衣服が絡みつくような形状でないこと。



サイドレールとサイドレール、サイドレールとボードのすき間は直径6cmの物が入り込まないこと、もしくは31.8cm以上であること。

注1：詳しくは本パンフレット中面のチェック①をご覧ください。

ベッド用グリップの開閉テストで1万回をクリアすること。

サイドレール内の空間は直径12cmの物が通らないこと。

ベッドとサイドレール、ベッド用グリップの適合する組み合わせを明確にすること。

項目の代表例 (JIS規格文を要約しています)

最新の JIS マーク付きのベッドでは事故は起きないの？

JISマーク付きの製品は、その製品が一定の品質や性能を確保していることを証明するものですが、使い方を誤ると重傷や死亡に至る事故は発生します。取扱説明書をよく読んで正しくお使い下さい。

医療・介護ベッド安全普及協議会とは

医療介護ベッドのメーカーにより 2002年12月に設立されました。ベッドを安心して使用して頂くためのハンドブックやマニュアルを作成し、ホームページに掲載しております。

最新情報はこちらからご確認ください

【ホームページ】 <http://www.bed-anzen.org>

【お問い合わせ先】 03-3648-5510



発行年月 2017.11.30

保存版

医療・介護ベッドここが危ない!!

あなたのベッドに危険なすき間が潜んでいる？



ご注意ください!

誤使用や想定外の使い方により医療・介護ベッドの事故が増加しています。

今すぐ確認と対策を!

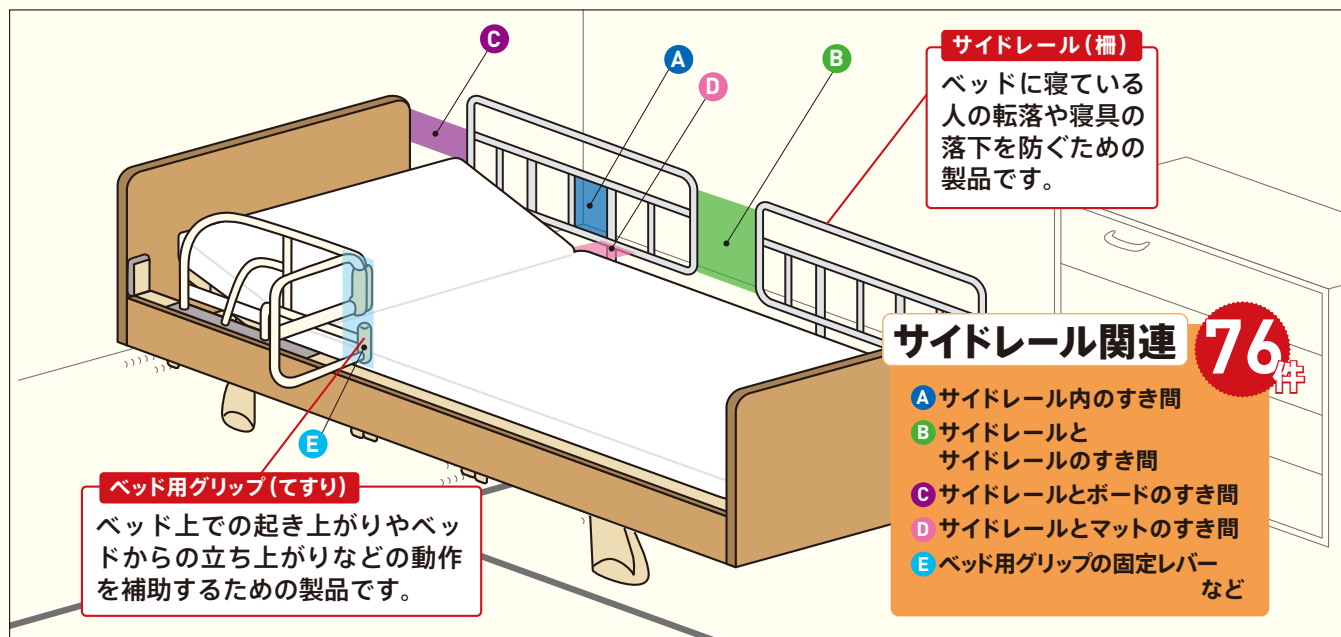
発行

医療・介護ベッド安全普及協議会

医療・介護ベッドまわりの事故の現状

ここが危ない!

近年、医療・介護ベッド関連の死亡・重傷事故が増えています。事故の多くは危険な部分があるかどうかの確認と正しい使い方によって未然に防ぐことができます。

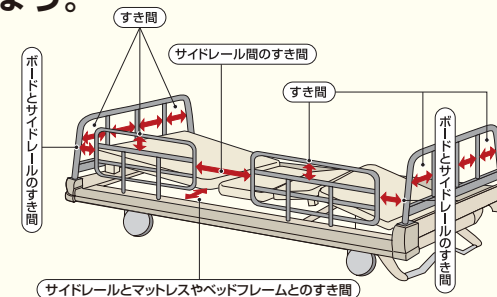


安全にご使用いただくための4つのポイント

1 すき間に注意

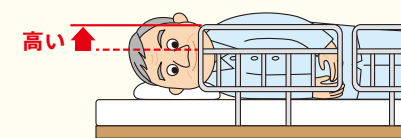
サイドレール・ベッド用グリップのすき間を確認しましょう。

- 利用者の身体状況に応じてカバーやクッションですき間を埋めましょう。
- すき間が狭い場合でも手などがはまり込む危険性を感じるときは毛布やカバーなどで覆いましょう。



2 転倒・転落に注意

- マットレスの厚みを考えた高さのサイドレールを選びましょう。

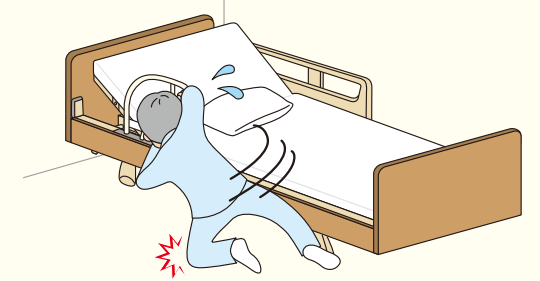


- ベッドの高さは、常に低くしておくか、安全に移乗、端座位ができる高さにしておきましょう。

- ベッドの周りは整理整頓し、転倒に注意しましょう。

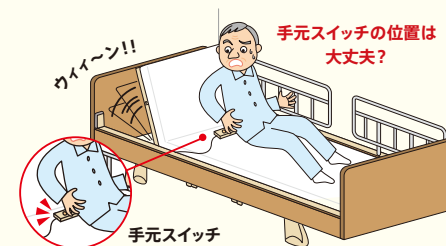


- ベッド用グリップなど固定やロックして使う物は、必ず固定、ロックしましょう。

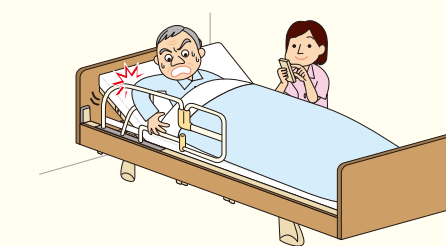


3 ベッド操作時の注意

- 手元スイッチは安全な場所に置きましょう。



- ベッドの背を上げるなど動かす際は利用者の手足の位置を確認しましょう。



- 無理な姿勢になっていないか確認しましょう。



4 使用前や使用中に

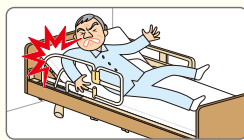
- 取扱説明書を必ず読み、使用前に正しい使用方法を理解しましょう。

- 故障かな?と思ったら必ず点検、修理を依頼しましょう。

サイドレール・ベッド用グリップのすき間の事故

26件 サイドレールなどの中に頭や手、足が入り込み重傷・死亡した。

- 手や足を入れたままベッドの背を上げた
- 手や足を入れたまま「起き上がった」「寝返りした」
- ベッドから転落したはずみで手や足が入った



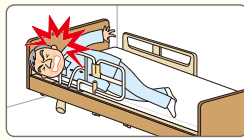
16件 サイドレールとサイドレール(ベッド用グリップ)とのすき間に首がはさまり重傷・死亡した。

- 背を上げた状態で体位を保持できず、身体が横に倒れた
- サイドレールを逆向きに取付け、すき間が広がっていた



11件 サイドレールなどとボードのすき間にはさまり重傷・死亡した。

- ベッドの外のものを取ろうとして身を乗り出した
- ベッドとサイドレールのメーカーが違っていた



9件 サイドレールなどとマットレスやベッドフレームの間にはさまり重傷・死亡した。

- ベッドより幅の狭いマットレスを使用していた
- ベッドとサイドレールのメーカーが違っていた



ベッド用グリップの固定ノブ・レバー関連事故

3件 着衣がベッド用グリップの固定レバーに引っかかり窒息により死亡。



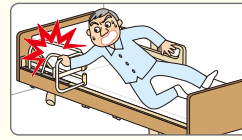
この部分に引っかかる



6件 首振りの固定レバーが外れ、転倒・骨折した。



この部分の未固定によるもの



5件 その他